

事務事業名	11400	福祉タクシー利用助成事業	予算科目	会計 一般	款 3	項 1	目 2	所管課	社会福祉課	担当班	障害福祉班	事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input checked="" type="checkbox"/> 主要事業
基本施策	10	障害者福祉の充実	根拠法令	旭市福祉タクシー利用助成事業実施要綱									
施策の展開	19	障害者福祉の推進	戦略事業	101	福祉タクシー利用助成事業								
施策の展開			戦略事業										

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ 年度～ <input checked="" type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 年度～ 平成 年度まで	身体障害者手帳1級、2級、3級(3級は視覚、下肢、体幹のみ)、療育手帳OA、OAの1、OAの2、Aの1、Aの2の等級で市内に住所を有する方に、タクシー乗車の際に金券と同様に利用できる利用券を交付し社会参加の促進を図る。 【利用券】1枚1,000円のタクシー利用券を年間24枚(腎臓機能障害の方で、かつ透析治療者は年間96枚)を交付する。【利用方法】利用者はタクシー乗車時に券を運転手に渡し(1回につき1枚まで)、1,000円を差し引いた金額を支払う。 タクシー業者は、翌月市へ請求する。市は助成金と協力金1件150円を合わせて支払いをする。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
開始時期は不詳だが、合併前より1市3町で実施されていた。	令和元年度よりタクシー業者へ支払う協力金を150円から100円に減額した。	利用する距離によって、1回の乗車で2枚使いたい。また500円の利用券を作ってほしいなどの声の一部にある。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(1年度の決算)	単位:千円	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(予算)
1. 需用費	55	1. 需用費	千円 48	千円 48	千円 48	千円 55	千円 62
2. 扶助費	8,604	2. 扶助費	千円 11,288	千円 10,530	千円 9,384	千円 8,604	千円 9,931
			千円				
			千円				
			千円				
			千円				
② 特定財源の内訳(1年度の決算)	単位:千円	事業費計 (A)	千円 11,336	千円 10,578	千円 9,432	千円 8,659	千円 9,993
1. 国庫支出金		1. 国庫支出金	千円				
2. 都道府県支出金		2. 都道府県支出金	千円				
3. 地方債		3. 地方債	千円				
4. その他		4. その他	千円				
		5. 一般財源	千円 11,336	千円 10,578	千円 9,432	千円 8,659	千円 9,993

前年度増減理由 **タクシー券交付者数の減及び利用枚数の減によるもの**

従事職員数 常時 **1** 人 最大 **1** 人 × **24** 日 = 延べ **24** 人

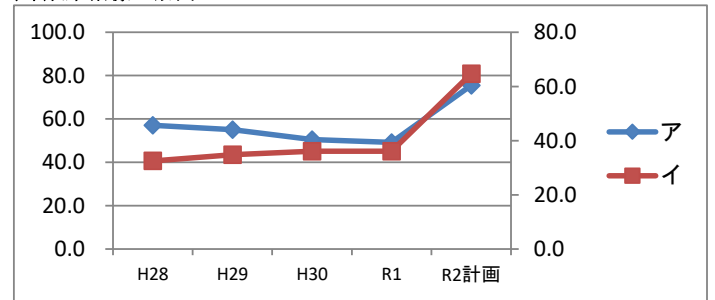
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
	1年度実績(1年度に行った主な活動)	ア 福祉タクシー券交付者数	人	537	486	461	456	505
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	イ						
	対象 身体障害者手帳1級、2級、3級(下肢、視覚、体幹のみ)、療育手帳OAの1、OAの2、OA、Aの1、Aの2でありかつ市内に住所を有するもの。 意図 助成券を交付することにより、対象者が通院や外出等の移動にかかる負担の軽減と地域生活へ参加しやすくなる。 対象意図	④ 成果指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
		ア 利用率(利用枚数合計/交付枚数合計)	%	57.1	55.1	50.5	49.2	75.5
		イ 1人あたりの利用回数	回	32.5	34.8	36.1	36.1	64.7

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	成果向上余地	評価結果	コスト比率
	かなりある		下位 1/3
	ある程度ある		中位 1/3
大きい		①	上位 1/3
普通	⑤	②	
小さい		③	
		④⑤	(4)
		⑥	
		⑦⑧	
		⑨	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難
【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標のタイプ <input checked="" type="checkbox"/> 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下 成果指標イ <input checked="" type="checkbox"/> 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下
【コメント】(低下の場合、その理由)	ア. タクシー券交付者の利用が少なかったため。
③ 今年度取組事項(2年度に取り組む主な事項について記載)	時期 R2.4.1～ 内容 新しく精神障害者保健福祉手帳1級所持者を対象として加えた。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他( )
	福祉タクシー券の利便性を考え、1枚1,000円券から1枚500円券へ変更し、1回の助成上限額も1,000円→1,500円変更することにより、福祉タクシー券の利用率の向上を図る。